「部分的な足部複合性局所疼痛症候群（CRPS）に対する装具療法における有用性の検討」
にご協力頂いている患者さんへ

当院では，下記の研究を実施しています。この研究は，愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され，研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく，個人情報の開示を希望される場合，研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	部分的な足部 CRPS に対する装具療法における有用性の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院　病院長　天野哲也
研究責任者	（所属）疼痛医学講座　（職名）教授　（氏名）牛田享宏
研究の対象となる方	2025 年 4 月から 2026 年 6 月まで CRPS と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日　～　2028 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕　本研究の目的は、複合性局所疼痛症候群（CRPS）と診断された患者さんに対して、通常の診療の一環として行われた装具療法が、痛みや身体の動かしやすさ、日常生活への支障にどのような影響を与えているかを、過去の診療記録をもとに振り返って検討することです。CRPS の患者さんの中には、痛みや動かすことへの不安が強く、運動やリハビリテーションが十分に行えない場合があります。装具療法は、そのような状況において身体を支えたり動作を補助したりする目的で用いられていますが、CRPS に対する有用性については、これまで十分に検討されていません。本研究では、新たな検査や治療を行うことなく、これまでの診療の中で得られた情報を活用することで、CRPS 患者さんに対する装具療法の臨床的な意義を明らかにし、今後の治療やリハビリテーションを検討する際の参考となる知見を得ることを目指しています。 〔利用方法〕　本研究では、対象となる方の診療情報、質問紙の回答結果、身体機能に関する評価データなど、通常の診療の中で記録された情報を使用します。これらの情報は、氏名や生年月日などの個人を特定できる情報を削除したうえで研究用のデータとして整理し、統計的に分析します。研究によって得られた成果は、学会発表や学術論文などを通じて公表されることがありますが、その際に個人が特定されることはありません。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び	試料：非該当 情報：本研究では、通常の診療の中で記録された以下の情報を使用します。

項目	● 年齢や性別などの基本的な情報 ● 痛みのある部位や病状に関する情報 ● 装具療法の内容 ● 痛みの程度に関する評価 ● 身体の動かしやすさや日常生活への影響に関する評価 ● 気分や動くことへの不安などの心理的な評価 ● 健康状態や生活の質に関する評価
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への診療情報や評価データ等の利用を希望されない方は、2028 年 2 月 28 日までに、郵送にて下記の問い合わせ先までご連絡ください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 疼痛医学講座 担当者：（職名）助教 （氏名）永井修平 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 12042）